

全 仙

ZENBUTSU
J A P A N
B U D D H I S T
F E D E R A T I O N

仏暦2564年7月
[2021年]

No.650

特集 | いま求められる仏教系大学



公益財団法人
全日本仏教会
WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター



全日本仏教会

<http://www.jbf.ne.jp>

発行人 木全和博
発行所 公益財団法人 全日本仏教会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階
TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260
e-mail:info@jbf.ne.jp





特集 いま求められる仏教系大学

2010年をピークに増加してきた日本の人口も年々減少が進み、2050年には総人口1億人を下回ることが予測されています。また、2040年には65歳以上と15歳から64歳までの割合がおおよそ同じ比率になると推計されています。人口の減少、過疎地域の増加、超高齢化社会による若年層の減少はすでに始まっています。(総務省統計局より)

本会に加盟する諸宗派には関連する多くの仏教系学校があります。それらの学校も若年層人口の減少によって、このままでは存続が危ぶまれる状況となり、将来的に仏教思想に培われた社会貢献を実践する人格の形成、人材の育成の場としての教育機関が失われるかもしれません。

そこで今号では仏教系学校の中でも大学を取り上げ、いま求められる仏教教育について皆さまに知っていただきたいと思えます。前半では、日本仏教教育学会の会長である大正大学の塩入法道教授に、大学における仏教教育の現状と展望をご寄稿いただきました。

後半では、掲載の許可をいただいた14の仏教系大学がそれぞれいま見てもらいたいことをテーマに紹介します。本会のホームページでは、これまでも大学に限らずに仏教系の学校を紹介してきました。(URL: <http://www.jbf.ne.jp/eventcont/school>)今後、このページのさらなる充実のため、今回紹介できなかった学校からの連絡もお待ちしております。

願わくは、未来を生きる人々に対して、幸せを感じ、安心して生活を送れる社会を構築していく人材育成、教育のための一助となることを期待します。

全仏 650 号

CONTENTS

特集

いま求められる仏教系大学 4

仏教系大学における仏教教育
日本仏教教育学会会長 大正大学教授 塩入法道

仏教系大学紹介

宗教法人運営のための法律入門

法人の管理運営を円滑にするポイント② 17

自死とグリーフケアを考える〈第3回〉 18

長谷川岱潤／仏教情報センター前理事長

『全仏』誌論説委員のページ 22

磯村健太郎

法話 ぶっぼうそう

みんな知っている親しみやすいお坊さんと言えば・・・そう「一休さん」。そんな「一休さん」についてちょっと気になったこととお話します。 26

光澤裕顕(木屋裕顕)／真宗大谷派覺法寺衆徒 / お坊さんマンガ家

本会からの報告 28

島根県仏教徒会議広報
第32回理事会開催
WFB(世界仏教徒連盟)から宮城県の震災支援ボランティア団体、東北サンガへ義援金が寄託
レインボーステッカーについて
シンポジウム「仏教とSDGs ～貧困について考える～」
第34期各種審議会・委員会委員
事務局員の異動
救援基金寄付者一覧・賛助会員新規入会者一覧(令和3年3月1日～)

表紙絵



闘志、希望、励まし、力強さのイメージで白虎を描きました。また、縁起の良さから日の出や山も取り入れています。日の丸は日本の象徴なので、国の力が強く有る様願いも込めています。

すいいろ

霊獣、神仏、妖怪、動物の作画が得意なイラストレーター。昨今は神社仏閣の授与品イラストを手掛ける。歴史やバックグラウンドを重んじながら表現する。
HP:<https://www.suiiro.com>



仏教系大学における仏教教育

日本仏教教育学会会長 大正大学教授 塩入法道

1. はじめに

大正7年(1918)政府により大学令が公布されると、それまでの帝国大学に加えて、当時の有力私立学校が大学として認可されましたが、仏教系では龍谷大学・大谷大学・駒澤大学・立正大学・高野山大学・大正大学などが次々に創設されました。もちろん江戸時代より檀林・学林と呼ばれる宗派ごとの僧侶養成機関があり、宗派の自治による伝統的な仏教教育は行われていましたが、大学令による大学化は国家による教育制度の枠組みに取り込まれることでもありました。仏教教育の近代化とも言えましょう。

この大学令が発せられてから100年。記念行事を行う大学も多いと思われまふ。しかし仏教系に限らず大学の未来は決して明るいものではありません。大学は大きな転換期を迎えています。これからも続く少子

いても言えまふ。コロナの流行が収まった後がどうなるか、一度「もうこの行事はやらなくてもいい、もっと省略してもいいや」ということになってしまうと、それが定着してしまう。そのことも心配です。

2. 大学における仏教教育・行事の事例

ちょっと悲観的なことを述べましたが、仏教系大学における仏教教育はもちろん必要と考えています。私は大正大学の教員ですので、大正大学の仏教教育や行事の事例を中心に紹介しますがご了承ください。大正大学は、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念を①慈悲②自灯明③中道④共生と読み解き、「4つの人となる」ことを教育・研究および地域や社会貢献等の基本に据えています。現在6学部体制で学生数は約5000名の首都圏における中規模大学です。設立宗派は天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗で、近年、時宗も加わりました。

ところで仏教教育には(1)全学の学生に対する教育と、(2)宗門子弟に特化した僧侶教育との2面があります。この2面について紹介しますが、昨年度はコロナ禍のため通常通りに出来なかった場合もありますので、多くは一昨年以前の事例になります。

(1)全学の学生に対する仏教教育

大正大学では建学の精神を活かすために、宗教教育や諸行事がさまざま

化傾向はもとより、降って湧いたようなコロナ禍の中で、今年度の志願者は首都圏の大学では例年の8〜9割程度でした。併願の減少と若者の地方志向がその背景にあったようです。10年後20年後には日本の大学数は半減するとも言われています。各大学は生き残りをかけて改革や新しい取り組みを毎年のように行い社会にアピールしていかなければ、受験生が集まらないというのが現状です。

一方で仏教の持つ強みの一つは伝統です。日本の伝統文化・精神文化の底流には仏教があると言ってよいでしょう。昨年度は私も大学でオンラインによる授業を行いました。今年度は対面とオンラインのハイブリット型授業です。リモートのメリットもありますが、文化の伝承ということに関してはどうもデメリットの方が多いように思います。授業の工夫が足りないのかもしれないかもしれませんが、仏教は頭で考えるばかりではなく身体的に体験することで理解できることも多いからです。例えば今はデータベース化されていますが、それでも分厚い「大蔵経」などを手に取ってみることも意味のあることでしょうし、仏教の体験は五感全てで何かを感じることが重要かと思えます。同じことは寺院の諸活動につ

まな形で行われています。かつては一般教養的科目群に広く仏教や宗教を学ぶ全学生対象の必修科目がありましたが、現在はそのような講座はなくなってしまうました。学部・学科・コースが増え、さらにそれぞれのカリキュラムがタイトになってきたことで全学的な規模の授業が展開できなくなりました。ただし年度ごとに流動的ではありますが、選択科目として、教養科目や仏教学科のオープン科目に仏教行事や仏教実修の講座が設けられています。また集中授業科目として、8月下旬〜9月上旬に設立宗派である各宗本山すなわち延暦寺(天台宗)・長谷寺(真言宗豊山派)・智積院(真言宗智山派)・知恩院(浄土宗)で2泊3日の修行体験を行う「本山研修」、および寺社や文化財を巡り研修する同じく2泊3日の「仏教フィールドワーク(古都研修)」(写真①)の講座があります。なお駒澤大学では全学生に在学中1回は坐禅の体験を課していると言われます。大正大学ではその他に、年中行事のような形で次のような法要・イベントが行われております。

【仏陀会】 釈尊の誕生日(降誕会・花まつり)・4月8日)、悟りを開いた日(成道会)・12月8日)、入滅した日(涅槃会)・2月15日)を記念する行事が、日本では別個に設定されていますが、東南アジアでは、ウエーサーカ月(4〜5月頃)の満月の日に、釈尊は生まれ成仏し入滅したという伝統のもとに、「ウエーサーカ祭」が行われ



写真① 仏教フィールドワーク

ています。大正大学ではこの行事にちなみ、釈尊の威徳を讃え報恩感謝するとともに、大学関係の物故者や諸災害の犠牲者を追悼する法会を「仏陀会」として6月に開催しています。

【成道会】仏教学科の授業の一環として、学生が主体となり企画運営する行事。仏陀会とは別個に12月上旬の水曜日の昼休みの時間帯を中心に開催しています。年ごとにテーマを決めそれにそった形で企画されていますが、基本的には巢鴨駅近くの真性寺からお練りを組んで出発し、校庭で各宗の学生による法要や護摩焚きが披露されます。釈尊の成道にちなみ「乳がゆ」などもふるまわれ、地域の人々の参拝も多い行事です。

【水曜礼拝】授業ある期間の毎週水曜日の昼休みに各宗持ち回りで行う法会で、今年度からは新築なった図書館棟の礼拝ホールの本尊（阿弥陀如来）前で行っています。（写真②）

宗門学生に対する伝統講座であった「水曜講話」「水曜勤行」の流れをくみ、昭和45（1970）年頃から、仏教体験の意味も含め一般学生も参加して実施されるようになっていました。水曜礼拝や次項の花会式などで唱えるお経は各宗派の勤行式ではなく「大正大学勤行式」という独自の式次第によって執り行われますが、これは



写真② 水曜礼拝

【鴨台盆踊り】大正大学では昭和40年代に廃止されていた盆踊りを東日本大震災のあった平成23年に復活し、震災の犠牲者の鎮魂と供養を併せて、学生主体の手作りの盆踊りを開催いたしました。以後、年を追うごとに参加者も増え設備も整い、最近ではのべ3000名を超える学生や地域の方々が、踊りや出店を楽しみに来てくれるようになりました。この行事は授業の一環ですが、他の法要等とは異なりほとんど宗学以外の学生が企画・実行しています。仏教教育・行事とは言えないかもしれませんが、宗学の学生による施餓鬼法要も併せて行っています。最初は大正8年（1919）に「少年少女の魂祭」として課外活動団体の児童研究会が主催した行事のようです。奇しくもスペイン風邪の流行した時でした。（写真④）



写真④ 鴨台盆踊り

このように紹介しますと、大正大学では仏教教育や行事が盛んに行われているように見えるでしょう。しかし盆踊りは別として、実際のところ宗学の学生以外ほとんど参加していません。むしろ地域の人々の参加の方が多くいます。何となく興味ありつつも参加できないようです。こちらのアプローチの仕方の問題なのかもしれません。

大正大学の場合、設立宗派が4宗派のため共通のお勤めをすることが難しいこと、時間的制約などの事情により作られたものです。宗門以外の学生も含む全学的な法要行事・寺院参拝・修行体験などにおいても用いられています。

【花会式】平成25（2013）年に「すがも鴨台観音堂」（通称「さざえ堂」）を建立されました。これは会津の飯盛山にある旧正宗寺のさざえ堂（国重文）を模した建物で、最上階に観音像を祀っています。これをきっかけとして、さざえ堂前で「花会式」を毎月1回開催しています。奈良の諸大寺では古代より国家の安泰や人民の幸福を祈願する春の行事が催され、薬師寺では「花会式」の名で親しまれています。本学では春に限りませんが、その名称を頂戴して各宗の宗門学生による法要を行っています。通常は各宗派の持ち回りで、その宗派の特徴的法要がとり行われ、あわせて主に教員による法話があります。

なお花会式の一環で、5月は「花まつり特別法要」、11月は「菊まつり特別法要」として各宗合同法要が営まれます。花まつりは釈尊の降誕会（月後）でありますが、菊まつりは、大学のある巢鴨の地の周辺は江戸のいわば園芸センターとして栄えた地域で、菊づくりも盛んになり菊見は江戸庶民の人気を集めたという縁もあり特別法要としています。（写真③）



写真③ 花会式

(2) 宗門子弟に対する法儀教育

大正大学では各宗派の子弟養成のために、仏教学科内に資格科目として僧階科目（僧侶資格に対応する科目群）が設定されています。これは各宗の教義や法儀を基礎から体系的に学ぶという理念に基づいています。ただしこれらの単位を取得したからといって、そのまま各宗派の正式な僧侶（教師）になれるわけではありません。僧侶の任命はあくまで宗派によります。大学は僧侶養成の補助機関と考えてよいでしょう。このカリキュラムは他の仏教系大学と比べても充実していると思います。

仏教学科の宗学コースの中に4宗派（近年は時宗も加わる）があり、宗門子弟を養成しています。私が天台宗に属している関係で、天台宗の場合を例として紹介しておきますが、カリキュラム上は各宗横並びの形で科目が設定されており大きな異なりはありません。

僧侶になる場合、一般的には、①師僧（実父のことが多い）のもとで得度受戒し僧籍登録する。②昔であれば小僧生活に入りますが、近年は多くの若者が寺院で生活しながら生活様式は一般家庭とほとんど同じです。このことから今は小僧生活に準ずる意味合いを込めて、宗門系の教育機関である大学で学ぶことが多くなっています。③在学中にのべ60日間の加行（最初の難関の修行）に入り、これが終了し宗に申請すれば、教師登録され最下位の僧階が得られます。④その後、様々な儀礼や伝法を受け、大学等で取得する僧階単位、諸研修などの実績により僧階が上がっていきます。⑤住職・副住職となるためには教師となっていること

が最低条件です。一般社会の感覚でいえば③が最も修行らしい期間でしょう。他宗派でも似たようなプロセスを踏みますが、宗派の教義や伝統が様々であるため具体的な部分には差異があります。

大学の法儀関係科目と宗派の修行との関連について、天台宗を例としてもう少し詳しく説明しておきます。

- ・1年次と2年次に「法義研究」I・II・III・IVの授業が設定されており、それぞれ夏休みに7日間の本山研修が組まれています。
- ・課外授業（法儀補講）は、初級・上級ごとに隔週で学期ごとに6回程度。単位認定はありません。

・2年次終了後の春休みに15日間、3年次の夏休みに45日間の比叡山での加行に入ります。加行は天台宗の規定では60日間となっていますが、近年は大学生の特例としてこのように分割しています。法儀研究の授業等で学んだ上で加行に入るのがモデルケースです。

その他、悉曇（梵字）や伝道学の授業や、もちろん教学面の教育も並行して行われています。

3. 課題と展望

大正大学を例として仏教教育の現状を述べましたが、宗門子弟の教育は当然ですからこれは置いておきます（ただし宗門の学生数も減少傾向

③全学横断的に希望学生を募り広い意味での仏教精神を学ぶ科目群を設定する。このようなことが考えられます。

②と③は可能性があると思います。②の仏教学科の場合とはかく、③については大正大学ではかつて地域貢献の科目群をこのような形で展開していました。ゆるい副専攻です。他学科の学生で仏教に興味を持つ学生は一定数います。人材や施設そして雰囲気は揃っているにもかかわらず、そこに目を向けず活用しないのは仏教系大学の怠慢かもしれません。また仏教系大学に教育学部や保育士養成等の講座が設置されている場合、そこでの仏教教育も重要かと思えます。もっともこれらのことにご

れだけ力を入れるかは経営陣や執行部の判断に依りますが、
ところで、日本では超高齢化、人生百年の時代を迎え、若者に対するアプローチは当然ですが、生涯教育の一環としての仏教教育も充実すべきでしょう。大正大学では「オープンカレッジ」と称する学外向けのサードピア講座があります（残念ながら昨年は中止、今年の秋も開催出来るかわかりません）。仏教系大学の強みを活かして仏教関係の講座が主となっています。祖父母や親の世代、あるいは地域の方々に対する組織的かつ積極的な働きかけを各大学で行うことも重要かと思えます。このような取り組みが一般化してくるにより、仏教教育が広く認知されていくのではないかと考えています。

社会がどう変わろうと、智慧と慈悲という仏教の教えは普遍性を持つものでしょう。現代社会は目の前のことにばかりとらわれ過ぎています。社会的ニーズと言いましたが、仏教的精神を身につけた学生は、長い目で見ると、社会に必要な存在として思いやりのある豊かな人間関係を築いていけると信じています。

が続いていますが）。重要なのはむしろ宗派以外の全学生に対する広い意味での仏教教育でしょう。私も退職された先輩の教員から「今は全学規模の仏教教育をしていない」と叱られることがあります。しかしここが難しい。小規模な大学ならともかく、学生数5000人以上で多くの学部を有する大学では、先に述べたように物理的に全学生に仏教教育を施すことが困難になっています。これはキリスト教系の大規模校も同じでしょう。仏教系大学だから親も安心して子供を任せるといような雰囲気もなくなりました。どれだけ就職に有利か、その比重が大きくなっています。大学もそのニーズに応えなければなりません。そこに仏教教育の入りこむ余地があるのかどうか。悲しいかなあまりないと言ってしまうでしょう。今の企業が仏教的精神を学んだ学生を優先的に採用してくれるでしょうか。コミュニケーション能力や発信能力、課題解決能力を持つ学生を望んでいます。大正大学の学生に関しては、自己主張をあまりせず大人しいが協調性に富み周囲との融和に心を配る傾向にあるというのが、企業側からの評価です。もしかしたらそれは大正大学の仏教精神が「何となく」息づいている結果かもしれません。

私は「智慧と慈悲の実践」の特に慈悲の精神を身につけた学生を育てたいと常に考えています。それがたとえ現代社会のニーズにすぐに合わなくても、ここは譲るわけにはいきません。では具体的にどうすれば良いのでしょうか。いくつかアイデアがあります。①教員に対する仏教教育を充実させ、間接的に学生に仏教精神を学ばせる。ただ学問分野の異なる教員がどこまで本気で受け入れてくれるか疑問です。②全学ということにこだわらず、宗学以外の仏教学科学生により実践的教育を行う。また文系の一部の学科・コースを特化しサブ科目として仏教教育を施す。

しおりり ほうどう 塩入 法道



大正大学大学院卒業。大正大学仏教学部教授。図書館長・学長補佐等を歴任し、大正大学山家学会会長・仏教文化学会理事長・仏教教育学会会長を務める。自坊は天台宗信濃国分寺。主な著作（共著）『観音経読み解き事典』（柏書房、平成12年）、『対訳注維摩詰経』（山喜房佛書林、平成12年）、『現代における宗教者の育成』（大正大学出版会・平成18年）、『法華経の基礎知識』（大法輪閣、平成23年）、『天台仏教の教え』（大正大学出版会、平成24年）（編者）『新編観音全集』（同朋舎新社、平成30年）。住職を務める信濃国分寺では、十数年前から地域のボランティアの方々とのハスの花を育てています。夏場に数千本の花が咲き誇ります。





九州大谷短期大学開学50周年

音楽劇 親鸞

2021年10月
2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)
16日(土)・17日(日)・23日(土)・24日(日)
(計16回公演)

●仏教学科 ●表現学科 演劇放送フィールド ●表現学科 情報司書フィールド
●幼児教育学科 (幼児教育コース/児童福祉・心理コース) ●専攻科 福祉専攻 ●福祉学科

九州大谷短期大学 KYUSHU OTANI JUNIOR COLLEGE
〒833-0054 福岡県筑後市蔵敷495-1
https://www.kyushuotani.ac.jp/

人間 × 人間
出逢いのちから。

さあ、自分イノベーション。



知らなかったことが、世界を広げてくれる。
できなかったことが、可能性を教えてくれる。
小さくても、踏み出す一歩一歩が
未来へ飛び立つ翼になるから。
新しい学びを、今までにない挑戦を。
愛知学院大学で、さあ、自分イノベーション。



つながる力。動かす力。 | ビジネスへ、産業へ、時代のその先を創造的に変える。
愛知学院大学 2022年4月心理学部 誕生。

○心理学部 心理学科 (2022年4月 設置構想中) ○文学部 歴史学科・日本文化学科・英語英米文化学科・グローバル英語学科・宗教文化学科
○心身科学部 健康科学科・健康栄養学科 ○商学部 商学科 ○経済学部 経営学科 ○経済学部 経済学科 ○法学部 法律学科・現代社会法学科 ○総合政策学部 総合政策学科
○薬学部 薬学系学科 (6年制) ○歯学部 歯学科 ○短期大学部 芸術系学科 (3年制) ○福祉理工専門学科 ○愛知中学校 高等学校 (同一法人)
〒470-0195 愛知県日進市稲崎町岡良池12 入試センター TEL:0561-73-1111 (代) www.agu.ac.jp ※記載の内容は計画中の予定であり、変更の可能性がございます。

京都女子大学

【建学の精神】親鸞聖人が体せられた仏教精神にもとづく人間教育
京都女子大学は令和2年に創設100周年を迎えました。長い歴史の中で培われた伝統を大切にしながらも、新しい時代の創造に向けて次の100年への歩みを邁進してまいります。

Topics 1

【新グランドビジョンの策定】
第1次グランドビジョンにかかる点検・評価結果を踏まえ、新たな10年間に特に重点的に取り組むべき課題として、第2次グランドビジョンを策定しました。詳細は、本学ホームページをご覧ください。

- 01 学業・研究の高度化を促し、実践できる人材を輩出します。
- 02 学業・研究の高度化を促し、実践できる人材を輩出します。
- 03 多様な学生が集まり、多様な価値観の中で、全学が輝けることのできる大学を創出します。
- 04 世界の大学と連携して、人材に資する研究を推進します。
- 05 時代の変化に対応して、新たな価値を創出する大学を創出します。

Topics 2

【新校舎が完成！】
令和3年3月、図書館とともにキャンパスの中心に位置する新校舎が誕生しました。学生が行き交う中庭空間とのつながりを大切にしながら、カフェテリアや学生ラウンジ、研究室、教室を一体で整備し、「つながる」「集まる」「参加する」「発信する」新しい学びの場として、本学の教育を更に発展させます。



京都女子学園 法人本部 経営企画・広報室
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35
電話 075-531-7022
FAX 075-531-7012
https://www.kyoto-wu.ac.jp

Be Real 寄りそう知性

「Real」とは、二つの「実」。仏教でいう「真実」。人間の思慮分別や価値判断が加わる前の世界、真理の姿を指し示します。もう一つは目の前の「現実」。社会問題や一人ひとりが経験する苦悩や、世の中に現れる具体的事象。
「Be Real」とは、真実を立脚地として、世の中の現実を生きていこうというメッセージ。世の中の現実に向きあながら真理を探究していこうという姿勢。真実と現実とにしっかり足場をおいて、本来あるべき人間の姿、あるべき社会を探究し、創造していこうというメッセージが「Be Real」。
仏教の理念に基づく本学において、どの学部・学科で学ぶことになろうとも、学ぶことで得られる知性は「他者に寄りそう」ことになるはず。仏教の智慧は、必ず人間に慈悲を生み出す力となる。それが「寄りそう知性」。

文学部 社会学部 教育学部 国際学部
NEW 2022年4月名称変更予定 大学院 人文学研究科
NEW 2022年4月開設予定 社会学部 コミュニティデザイン学科 情報メディアコース

大谷大学 大谷大学 大谷大学 大谷大学 大谷大学
〒603-8143 京都市北区小山上総町
入学センター 075-411-8114
大谷大学

問い、続ける。 「問う」ことの大切さを知るために
https://brand.otani.ac.jp/



開校135周年！ 空海の教えをもとに 人間力あふれる学生を育てます

真言宗の宗祖弘法大師空海は、あらゆる命の営みを尊び、それぞれの価値を認める教えを説かれました。本学ではその教えに従い、自らの文化以外の様々な文化の価値を認め、新たな文化を生み出す教育を目指しています。

現在は密教学科と教育学科の2学科体制。密教学科では弘法大師空海の教えをもとに、仏教・密教の知識とともに歴史や心理など専門分野を通して「自分を知る学び」に取り組みます。2021年度新設の教育学科は大阪府河内長野市にあります。教育学科では、教育現場に必要な力を身に付ける学びに加え、学校・保育現場や地域における現場体験を通し、懐の深い教育者を育てます。



密教学科（高野山キャンパス）
〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山 385

教育学科（河内長野キャンパス）
〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町 1685

難波サテライト教室
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 1-10-4 南海 5k 難波ビル 7F <https://www.koyasan-u.ac.jp/>



淑徳大学

淑徳大学の建学の精神「利他共生」は「他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる」という意味で、これは大乘仏教の精神に基づく理念であります。大乘仏教では出家し、厳しい修行をした人だけでなく、どんな人も信仰があれば大きな乗り物に乗るように救われると考え、そのために「自利利他（自らの人格の完成のために修行し努力することと、他者を生かすために自分が尽くすことを、共に行う）」を理想としています。

淑徳大学の「建学の精神」

り た きょう せい
利 他 共 生

他者に生かされ他者を生かし共に生きる

心のあり方
かん のん ほう し
感 恩 奉 仕

生かされていることへの感謝をお返ししていく

目指す姿
ぜん ざい どう し
善 財 童 子

師を求めて学び続ける学生のあるべき姿

千葉キャンパス（総合福祉学部、コミュニティ政策学部、総合福祉研究科）

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町200
(代表)043-265-7331

千葉第二キャンパス（看護栄養学部、看護学研究科）

〒260-8703 千葉県千葉市中央区仁戸名町673
(代表)043-305-1881

埼玉キャンパス（経営学部、教育学部）

〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
(代表)049-274-1511

東京キャンパス（人文学部、短期大学部）

〒174-8631 東京都板橋区前野町6-36-4
(代表)03-3966-7631



大学ホームページはこちら

しなやかな、意思。 Learn Actively. Live Wisely.

本学では、仏教・禅を礎とした建学の理念を継承して、多様な知と価値観に触れる学びの場を提供し、新たな道を切り開く人材を輩出する指針を示す『ブランドコンセプト』をまとめました。

【しなやかな、意思。】には、変化と多様性に富む社会で、しなやかに、折れることなく、主体性をもって生きる心を育むという思い、
【Learn Actively. Live Wisely.】には、多様な価値観や知に触れ、学んだ知識と実践経験を活かし、しなやかに生きる力を育むという思いを込めています。

学長/理事 各務 洋子(かがみ ようこ)
国際基督教大学大学院行政学研究科行政学専攻博士課程修了、
博士(学術)。令和3年4月より現職。



〈学部〉 仏教学部 文学部 経済学部 法学部 経営学部 医療健康科学部
グローバル・メディア・スタディーズ学部
〈大学院〉 仏教学研究科 人文科学研究科 経済学研究科 商学研究科 法学研究科
経営学研究科 医療健康科学研究科 グローバル・メディア研究科 法曹養成研究科

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 TEL:03-3418-9828 <https://www.komazawa-u.ac.jp/>

Learn
Actively.
Live
Wisely.



種智院大学

人文学部
仏教学科
社会福祉学科

建学の精神

本学は広く一般教養に関する知識を受けるとともに、仏教学、特に密教学を中心として深く専門の学術を教授研究し、併せて宗祖弘法大師の精神に則り、普遍的にして個性豊かな人格を養成し、もって世界文化の向上に資することを目的とします。

京都で一学部二学科、少人数の学び

仏教学科

仏教の精神文化・哲学、弘法大師空海の思想・密教の教相・事相・歴史、仏教芸術、仏教の現代的実践の4つの視点から仏教を探究します。

社会福祉学科

社会福祉学科では、仏教の利他行や弘法大師の濟世利人の精神・理念を身につけたソーシャルワーカーの育成を目指します。



■ 問い合わせ・資料請求先 教務課入試担当 Tel:075-604-5600 (代)
〒612-8156 京都市伏見区向島西定請 70



<http://www.shuchien.ac.jp/>

学校法人同朋学園は
創立100周年を迎えました

同朋大学

建学の精神
「同朋和敬」

Living together in diversity

仏教学科
真宗史・仏教史学

同朋大学では、親鸞の視座を通して仏教の思想・歴史・文化を学びながら自己と社会の関係を見つめ、人が生きる意味を考えていきます。仏教を学ぶことは、単に仏教の知識を得るだけでなく、常に変化する時代の中で「人間とは何か?」「私が本当に人間として生きていくということはどういうことか?」を深く問い続けていくことです。

親鸞が開いた浄土真宗を中心に仏教を学びながら自己と社会との関係性を考え、真理を探究します。



【お問い合わせ先】
同朋大学文学部研究室
平日 9:00~17:00

愛知県名古屋市中村区稲葉地町7-1
TEL:052-411-1426
大学HP:<https://www.doho.ac.jp/>

大学ホームページ & 学科Instagram



立正大学は9学部16学科7研究科に1万人が学ぶ総合大学です



品川キャンパス150周年記念館

立正大学は立正の精神に学ぶことを
建学の理念とします。

——— 建学の精神 ———

- 一、真実を求め至誠を捧げよう
- 一、正義を尊び邪悪を除こう
- 一、和平を願い人類に尽そう

立正大学
「モラリスト×エキスパート」を育む。

150th
RISSHO
2022年 開校150周年

■仏教学部/仏教学科、宗学科 ■文学部/哲学科、史学科、社会学科、文学科(日文・英文)
■経済学部/経済学科 ■経営学部/経営学科 ■法学部/法学科
■社会福祉学部/社会福祉学科、子ども教育福祉学科 ■地球環境科学部/環境システム学科、地理学科
■心理学部/臨床心理学科、対人・社会心理学科 ■データサイエンス学部/データサイエンス学科

品川キャンパス JR大崎駅徒歩5分 JR・都営浅草線 五反田駅徒歩5分 東急池上線 大崎小路駅徒歩1分 熊谷キャンパス JR熊谷駅バス10分 東武東上線 森林公園駅徒歩12分

<https://www.ris.ac.jp/>



身延山大学

本学の建学の精神は、日蓮聖人の立正安国の精神に則り、健全なる社会人として、
広い視野に立った専門教育を施し、学術の理論及び応用を教授して、
社会のために身を以て尽くすことの出来る人間の養成を目的としている。

本学は、仏教の持つ普遍的哲学性をより発展させ、社会に対する奉仕、実践・見識、社会貢献を重んじる人材を育成するために、専門課程として「福祉学専攻」「仏教芸術専攻」「日蓮学専攻」の3専攻を設置しています。日蓮学専攻では、仏教学、日蓮教学の専門知識を学修し、仏教者として総合的・多角的な知識を身につけます。特に、日蓮宗僧侶として布教現場に必要な即応力を身につけます。福祉学専攻では、乳幼児から高齢者まで、多様な領域の福祉に対応できる理論を体系的に学びます。仏教芸術専攻では、仏教彫刻・絵画・音楽等の仏教芸術の実践、博物館学を学び、文化や美術の保存・発展に寄与できる総合力を身につけます。



問い合わせ・資料請求

〒409-2597 山梨県南巨摩郡身延町身延 3567
身延山大学入試事務室
TEL 0556-62-3700 e-mail nyuushi@min.ac.jp

<http://www.min.ac.jp/>

「TFU Vision2025」～学園創立150周年に向けて～

東北福祉大学は2025(令和7)年に学園創立150周年を迎えます。建学の精神「行学一如」、教育の理念「自利・利他円満」を基調とし、「学問研究と実践実行は一体である」ことを認識し、この両立・調和を図りうる人材の育成を長らく行ってきました。

節目を迎えるにあたり、次の50年、100年を見据えて策定した「TFU Vision2025」のもと、教育・研究分野のみならず、学生のサポートにこれまで以上に注力していきます。社会の急激な変容や情報技術の進展が著しい時代において、この変化に対応し、SDGsや地域共生社会の実現に貢献する人材を育成する役割を果たすことができるよう、全学挙げて新たな挑戦を続けていきます。

心理・行政・経済・情報・教育・保健医療が学べる福祉の総合大学

【総合福祉学部】社会福祉学科/福祉心理学科/福祉行政学科
【総合マネジメント学部】産業福祉マネジメント学科/情報福祉マネジメント学科
【教育学部】教育学科(2021年度入学生より中学・高校英語教員養成開始)
【健康科学部】保健看護学科/医療経営管理学科/リハビリテーション学科

●仏教専修科(曹洞宗教育規程に基づき設置されており、本学の学部在学する本宗寺院の子弟が在籍できます)

東北福祉大学
TOHOKU FUKUSHI UNIVERSITY

〒981-8522 宮城県仙台市青葉区国見1-8-1
TEL.022-233-3111 <https://www.tfu.ac.jp>

宗教法人運営のための 法律入門

宗教法人の管理運営 14



法人の管理運営を円滑にするポイント②

●意見を汲み上げてから決定を

それでは、信者らの意見をどのように汲み上げたらよいでしょうか。地方により寺院・神社・教会により色々な慣行があるでしょうが、重要な案件については上からの押しつけという印象は取り除かなければなりません。押しつけられたと感じると一般の信者は、それならそっちで勝手にやってくれ、という気持ちが出てしまいがちです。かといって信者の多くは役員等のリーダーシップを願っているのも事実です。役員とちがって一般の信者はいつも宗教法人のことを考えているわけではありませんから、抽象的一般的要求があっても、具体的な実行方法は役員で考えてほしいというのが本音でしょう。即ち、トップダウンだけでも駄目ですし、ボトムアップだけでもうまくいきません。なかなか難しいところです。それではどうしたら良いでしょうか。

重要案件を決める場合には、まず代表役員が案を練り責任役員(会)にかけ1つの案としてまとめあげ、総代(会)・世話人(会)に提出します。このなかで色々な意見を汲み上げた後、最後に再び責任役員(会)でその責任において決定するという段取りが望ましいと思います。そして決まったことを再び総代(会)や世話人(会)に報告して、みんなで実行に移していくというわけです。重要な案件(施設の建て替えや大修繕等)では、信者総会にかけすることも必要でしょう。その際、時間に余裕がある総代や世話人さんらには、是非何らかのお役を荷ってもらうことが重要です。

●案件が決まらない原因

しかし、それはあくまで建前論です。日本人は会議のやり方に不慣れといわれています。会議が始まるときには、もう結論は決まっているとされます。いわゆる根廻しで決めるということですが、根廻しがうまくいかず失敗するかは、人間関係の良し悪しにかかってきます。

根廻しをするかしないかにかかわらず、代表役員と総代・信者間の日頃の交流が最も重要なことは改めて言うまでもありません。日常の些細なことの積み重ねからくる信者の不満が、人事や重要事項の決定に際して噴き出してくるのであって、人事そのものや重要な案件の意見の違いが紛争の根本原因であるということは極めて少ないと思います。日頃の、ちょっとした注意が紛争を未然に防ぎます。寺院でいえば寺檀紛争を防ぐには、人間関係を密にしておくことが重要です。もちろん布教活動に不可欠の要素でもあります。

作成・監修 弁護士 長谷川正浩

知識集約型社会とは何か？

新教育ビジョンと
知識集約型社会を支える人材育成事業について

知識集約型社会とは、「デジタルによる『社会革新』により、データの持つ価値が飛躍的に向上し、社会構造までもが(モノからコトへ)大転換する社会」を言います(こうした時代を日本ではSociety5.0と呼んでいます)。
本学は、この変革の時代を支える人材の育成を行うにあたり、①自ら「問い」をたて、まずは幅広い知識と教養を身につけるための学習を行い、
②これからのデジタル革命と言われる社会に向けて、自らデータを収集・分析・活用できる基礎的スキルを磨き、
③それらを統合・調整して「課題解決」のプランを練り、④こうした探究学習を繰り返しながら、
学生が自律的に成長していくプログラムを開発しました。

新共生主義
多様な価値を認め合い、支えあって生きることができる社会の実現

SOCIETY 5.0

地域人スピリット
地域に生まれ、地域で生活する私たち。「地域」は私たちの地理的、物理的、精神的基盤でもあります。近い将来、社会がデジタル化され、人々の生活・営みにも変化の波が押し寄せ、ただ効率化・合理化のみを追い求める時代が来ることも予想されます。仮にそうしたことがあれば、求められるのは人間が人間として生きられる社会や人間の本質が失われることがない地域です。地域を愛し、志を持って「新しい時代の地域」を創造する人材、幸せに生きられる地域をつくる人材、そうした人材を、私たちは「地域創生人材(地域クリエイター)」と呼びます。

アントレプレナーシップ
これまでの企業の多くは、会社という組織の中で人々が仕事をこなし、活動する形でした。しかしデジタル革命によって、社会全体の構造転換が求められている今、幅広い知識、能力、デジタル技術によって仕事をし、他者と比較され、評価される「DX(デジタル・トランスフォーメーション)」時代が迫っています。こうした21世紀型のビジネス社会の中で生き残っていくための武器は、自ら新しい価値を創造する「アントレプレナーシップ」です。本学では、これからの時代の「価値創造スキル」を磨き上げるアントレプレナー養成プログラムを大学2～4年次に履修可能な選抜制の特別プログラムとして用意しました。

7月31日(土)
大正大学×キズナアイ
バーチャルキャンパスオープン
イベント開催予定!
詳細は受験生応援サイト
「ココカラ」をご覧ください。

大正大学
スガモで育む日本の未来。

社会共生学部
地域創生学部
表現学部
心理社会学部
文学部
仏教学部

建学の理念
「智慧と慈悲の実践」

URL
<https://www.tais.ac.jp/>

RYUKOKU UNIVERSITY

Less Me More We

あなただけの世界から、私たちが想う世界へ。

龍谷大学は、「自省利他」を行動哲学として、地球規模で広がる課題に立ち向かい、社会の新しい可能性の追求に力を尽くしていきます。

龍谷大学
文学部 経済学部 経営学部 法学部 政策学部
国際学部 社会学部 農学部 先端理工学部 短期大学部
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
<https://www.ryukoku.ac.jp/>

心理学部(仮称)
2023年4月開設予定(設置構想中)

自死とグリーフケアを考える 〈第3回〉

仏教情報センターの沿革

長谷川 潤 (はせがわ たいじゅん)

(一般社団法人)仏教情報センター前理事長(平成27年～令和3年)。同センターには昭和59年より関わる。昭和60年より浄土宗戒法寺住職。浄土宗内では東京教区人権同和推進委員会委員長を25年、宗の人権啓発講師を17年つとめる。また、法然上人讃仰会の月刊誌「浄土」の編集長を25年務め、現在同会理事長。総本山知恩院及び大本山増上寺布教師。「同和問題」にとりくむ宗教教団東京地区連帯会議議長。



当センターの設立は1983年(昭和58年)。すでに高度経済成長も過ぎて、日本は物質的には十分に豊かになった時代でした。人々の意識にもそれはあらわれていて、内閣府の「国民生活に関する世論調査」では、「今後の生活において心の豊かさや物の豊かさのどちらを重視するのか」という質問に、昭和40年代には物の豊かさを求める割合が多かったのに対し、昭和50年代初頭には両者が拮抗し始め、半ば過ぎからは心の豊かさを求める割合が物の豊かさを求める割合を凌駕し、現在までそれは続いています。

実際に、霊障やたたりなど人の弱みにつけ込む宗教などが現れだすなど、物が豊かになっても心まで満たされるわけではないことを、人々が実感した時代であったと思います。

当センターはそうした状況の中、仏教の教えを現代社会に活かして、より多くの人たちに仏教を身近に感じてもらうべく、9宗派からなる有志の僧侶たちによって設立されました。それるかもしれませんが、浄土真宗の花山勝友さん、TBSラジオの「全国子ども電話相談室」の回答者として有名だった無着成恭さん、臨濟宗妙心寺派の松原泰道さんといった方々がそこで説法をしていました。僧侶の行うそういった活動にみなさんが注目していた時代です。

テレフォン相談の内容も、始めは今よりも素朴なものが多かったように感じます。例えば、「三回忌のお布施はいくらですか」とか、「うちの寺は掃除しないで困る」とか、ストレートでしたね。

やがて、込み入った人生相談や、精神的に不安定な方からの相談などが、だんだんと増えてきました。

そうした相談を私自身もこれまで何ってききましたが、やはりいろいろなお話を聞かせただけだというのが私の財産になっています。世の中には本当に様々な悩みがあるんだなと実感します。なんだかんだで人間関係の悩みに帰着することがほとんどですけど、お互いに顔も名前も知らない電話越しだからかもしれないが、奥深いところまで話してくれるので、あんな人ってこういうふうな思うんだと、いろいろと学びました。近所づきあい、上司と部下、家族、

本連載では、本会に所属する宗派・団体の電話相談室の連絡先を、これまで末尾で紹介してきた。自死者が増えているコロナ禍において、そうした存在を少しでも多くの人目に触れるようにしたかったからである。そのうちの一つに「仏教情報センター」がある。一般の方々からの電話相談を中心に40年近く活動を続けてきた団体で、今では宗派を超えた僧侶150人あまりが所属する。

今号では、前理事長である長谷川 潤氏(浄土宗)の話を伺う。「葬式仏教」と揶揄されることが多い仏教界にあって、「生きた声」と絶えることなく向き合ってきた。僧侶であればこうした活動に積極的に参加してほしいし、近くに思い悩む人があればこのような相談できる場を知らせていただきたいと願っている。

事務総長 木全和博

から40年弱、当初より電話相談を活動の中心としながら、年に一度街頭相談と称してお寺を借りて屋外で相談活動をしたり、講師を招いて参加者、僧侶とともに語り合う「いのちを見つめる集い」といった活動を続けています。

20人足らずから始まったボランティアの僧侶は、現在では150人近くまで増え、2020年には正力松太郎賞をいただきました。

私自身に関わるようになったのは、設立の翌年の1984年です。増上寺で浄土宗の青年会の研修会があって、当時テレフォン相談をされていた方が講師としていらっしゃいました。その中で、相談員を募集といったことを話されていて、その場ですぐというわけではなかったけれど、いつの間にか入っていましたね。大変でした、行ったらそのまま電話の前に座らされて。

しかし今振り返ってみると、当時はまだお寺という存在の敷居が高かったのだと思います。お寺を毛嫌いしているという感じではなかったけれど、住職に何か聞くということ自体、みなさん遠慮されていたのでしょうか。聞いてはいいない雰囲気や社会的に強かった。その中で、ここに電話をすればお坊さんが出てくれて、なんでも答えてくれるところにちょっとした驚きがあったのだと思います。ですから、すんなり受け入れられましたし、講演会をやればすごく人が集まりました。

当センターの活動ではありませんが、原宿の喫茶店で僧侶が辻説法をする「南無の会」が始まったのもそのころでした。覚えている方もい



表彰状

第四十四回正力松太郎賞
一般社団法人 仏教情報センター 殿
貴会は長年に亘り電話相談等の活動を
通じ入心し、このたびは尽力されました
現代社会における様々な苦悩に寄り合う
その活動は本会が目的とする仏教精神に
基づき、社会の人心の向上を図る活動
として高く評価されました。
よってここに正力松太郎賞を贈り、その功績を
たたえます。

令和二年十月六日

公益財団法人全国青少年教化協議会
会長 森川 宏 映
理事長 鬼生田 俊 英

恋人……。

時には相談相手と言い合ってしまうこともありました。お姑さんからお嫁さんへの文句というか愚痴というか、そういう電話がかかってきて、実家のお母さんが病気になる、嫁はすぐに帰ってしまうと言うので、良いお嫁さんですね、そういうお嫁さんだったらあなたも最後まで面倒見てもらえますよ、と素直に思ったことを答えてしまったら、ガチャンと切られたり。しかし、そうしたやり取りのひとつひとつが自分のお寺の檀家さんとの話し方や内容にも通じています。同じような相談を受けたときに参考にもなってきました。

聞くということ

当センターでは相談員になるために、カウンセラーや臨床宗教師といった資格を必要とはしていないんです。その人の僧侶としての熱意や誠実さを大事にしています。初期の頃はカウンセリングの講習会に行つて資格を取りました。という話があり、何人か行っていました。しかし仏教的な答え方と、カウンセリングで習ってきた答え方はなにか違うということになった

これは相手に伝わるでしょう。相手の言ったことを繰り返して、受け入れて、わからないことはわからないと誠実に答える。自分より適切に答えられそうな人や機関を知っていたらそれを伝える。そういった真摯さと個々のやり取りへの内省が僧侶として答えること、ここが修行の場である意味なのだと思います。

今、僧侶になる勉強は、どうしても教理的なものや儀礼的なものに偏ってしまっています。もちろんそれも大事です。しかし、お経を唱えること、塔婆の字、法話、僧侶としてそれらは

んです。当時、カウンセリングでは傾聴に徹し、

あまりこちらの意見を言わないということが大切にされていましたが、当センターでは電話相談の理念に「対機説法」を謳っていますので、自分の信仰を語ることを否定していません。無論、それを相手に押しつけることは厳に禁じていますが、「愛語の修習実践の場」として電話相談を捉えているので、カウンセラーなどの資格そのものは余り関係ないような気がします。カウンセリングのところに相談するとみんな同じ答えをするが、ここはそうではないのが良いという相談者からの声もいただいています。ただその分、聞くということに関する基本的なスキル、仏教に関する理解など、相談員各自で深めていたかなくてはなりません。当センターとしてのマニュアルを作つて相談員さんには全員に配りますし、研修会も定期的に開いています。相談者の人生を左右してしまう可能性がありますが、生半可な気持ちで取り組んでもらいたくはないですね。

コロナ禍において

今、コロナ禍で自死者の数が増えていると聞

できて当たり前です。その上でなにができるか。今はそれが問われているのだと思います。ここには僧侶への苦情の電話もありますが、定番の金銭がらみの内容だけではありません。私たちは一般の方々から本当によく見られているのです。ここは大学ではできない経験を積むことができますし、相談員をぜひやってみたいという方を歓迎しています。

きます。しかし残念ですが、当センターでは今、相談日を縮小し、時間も短縮している状況です。こういう時だからこそ普通にあげようという声もあったのですが、相談員にもそれぞれお寺がある中で、ここが感染源になるわけにもいきません。その限られた中ですが、思い悩む人にはぜひ電話をしてきて欲しいと思います。

私の経験では、これまで自死を考えていると電話してきてくれた方とのやり取りは、最初は深刻な雰囲気が始まりますが、丹念に話を聞き誠実にお答える過程で、最後には笑って終わることも非常に多かつたように思います。思いを吐き出す場としてぜひ使っていただきたい。

しかし、これまでに一人だけこの人本気だと感じた人がいます。その人とは結局4時間近く話しました。当センターは一期一会を基本としてお互い名乗りませんから、継続的にその人と関わるわけにはいきません。だからまたかけてきて下さいと言ってその場は切るしかありません。その後どうなったかは信じるしかない。ただそうした相談を受ける側の限界を意識しておくことも大事なのだと思います。上手いことを言つてやろうとか思わないことです。それはその場を取り繕つたに過ぎませんし、恐らくそ



本会に加盟する宗派や団体では、
思い悩む人々に僧侶が答える電話相談窓口を
設けています。

曹洞宗

●心の電話相談室
03-3454-5420 | 火~金 | 12時~14時

●親世ふぉん(青年僧による電話相談)
080-1546-7464 | 日曜日のみ | 22時~24時
080-1547-5646

浄土真宗本願寺派

●「いのちと念仏」相談センター
075-371-5811 | 月曜日、水曜日 | 12時30分~16時

真宗大谷派

●ココロダイヤル
03-5923-5560 | 金曜日のみ | 10時~21時

浄土宗

●心といのちの電話相談室
03-3436-6823 | 月曜日、金曜日 | 10時~16時

日蓮宗

●日蓮宗総合相談所
03-3751-7181 | 月~金 | 9時30分~16時30分

●いのちとこころの電話相談
075-751-7191 | 無休 | 24時間

真言宗豊山派

●豊山派テレホン相談室
03-3946-1166 | 火曜日(宗務所休日を除く) | 10時~15時

仏教情報センター

●仏教テレフォン相談
03-3811-7470

月(曹洞宗・臨済宗)	10時~12時 13時~16時
火(浄土真宗)	
水(日蓮宗)	
木(浄土宗)	
金(天台宗、真言宗)	

各宗派有志

●大阪仏教テレホン相談室
06-6245-5110 | 月~金 | 14時~17時

【参 照】全日本仏教会ホームページ「仏事お悩み相談」
http://www.jbf.ne.jp/eventcont/telephone_advice

貧困問題を考える前に

ジャーナリスト 磯村 健太郎

これから何回かに分けて、貧困問題について考えていきたいと思います。仏教が貧困にどうかかわっていくか。なかなか大きなテーマです。少し遠回りですが、まずはこんな話から始めてみましょう。

ステイヴン・キングという米国の作家をご存じでしょうか。映画好きの方なら「シャイニング」や「スタンド・バイ・ミー」あるいは「シヨール」や「スタンド・バイ・ミー」といった作品をご覧になったことがあるかもしれません。それらの原作を書いた人です。

彼の創作秘話を書いた『小説作法』という本があります。そのなかで、文章とは「テレパシーである」と述べています。離れた場所を超えてものごとを伝える、あのテレパシーだというのです。キングは「種も仕掛けもない」と断った

うえで、こんな文章を読ませます。

「ここに、赤い布をかけたテーブルがある。金魚を飼う水槽ほどの檻が載っている。中では鼻先と目の縁が桃色をした白ウサギが、ニンジンと前脚で挟みつけるようにしながら満足げに齧っている。ウサギの背中には青インクでくっきりと、数字の8が記されている」

いかがでしょうか。いま、あなたの脳裏にはこの奇妙なウサギの姿があざやかに浮かんでいるのではないのでしょうか。これは24年前に米国で書かれた文章ですが、時空を超え、まざまざと情景が浮かんできます。小説家は読み手の想像力を信じ、豊かなイマジネーションを期待しているわけです。

それでは、わたしからも同じような実験をさせていただきます。次の文章をお読みください。

コンクリートの歩道は固く、炎天下で熱を帯びています。うつむいているので、行き交う会社員の顔は見えません。見えるのは足だけです。女の乞食……。そのことばも聞こえたかもしれせん。

そのように想像すると、彼女のこころの痛みを感じるような気がしませんか？

だれしも自分がいとoshiiから

視点を変えること。それは貧困問題を考えるときに、とても大事だと思います。仏教者のみなさんには関係のある発想です。まさに釈迦に説法ではありますが、原始仏典の一つ『サンユッタ・ニカーヤ』の一節を引用します。釈尊が語ったと伝えられる、次のようなことばがあります。

「どの方向に心でさがし求めてみても、自分よりもさらに愛しいものをどこにも見出さなかった。そのように、他の人々にとっても、それぞれの自己が愛しいのである。それ故に、自己を愛する人は、他人を害してはならない」

(中村元訳『ブッダ 神々との対話』)

——夏の朝。照りつける太陽のもとで、たくさんの会社員たちが足早に勤務先へ向かっている。そんな都心の交差点の片隅に、日傘をさした40代くらいの女性がいる。白いワンピースを着ている。立っているのではない。歩道の上で正座している。ひざの前には小さな箱が置いてある。その前を背広姿の男性2人が通り過ぎる。1人がつぶやく。「女の乞食は珍しいな」。

さて、あなたはどんな情景を思い浮かべるでしょうか。

人の痛みを感じるセンサー

これは創作ではありません。わたしが20年ほど前に、実際に遭遇したできごとです。

さきほどのウサギの背中に「8」の字が見えるのは、わたしたちが兼ね備えた想像力のおかげです。一方、わたしが示した例はそれと同時に、もう一つのことを問うています。それは人の痛みを感じる「センサー」のことです。

みなさんの脳裏には白いワンピースの女性の姿が浮かんでいると思います。そこで今度は、想像力をさらに働かせ、この女性の視点になってみましょう。

代表理事の松島靖朗さんがこの活動を始めたきっかけをお聞きになったことはありますか？

それは8年前、大阪市のマンションで母と子の遺体が見つかった事件にさかのぼります。現場には「おなかいっぱい食べさせられなくて、ごめんね」というメモが残っていたそうです。この豊かな日本で餓死なんて……。事件を伝える報道に胸を痛めた松島さんは、お寺の「ある」と社会の「ない」をつなごうと考えました。

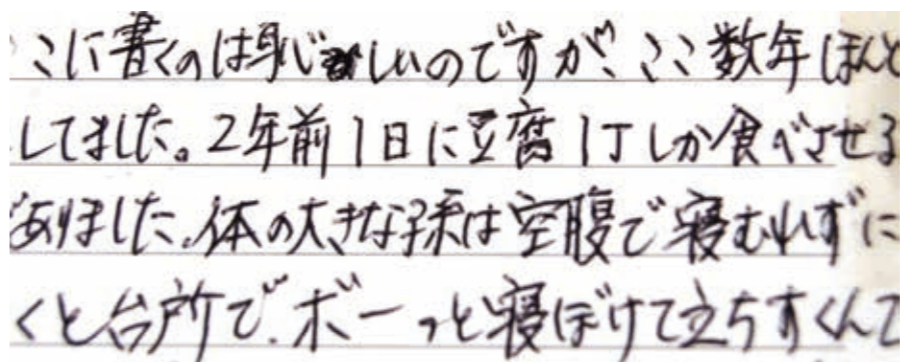
ここからはわたしの想像ですが、松島さんはニュースを聞いたときに、重なるように倒れた母と子の姿が見えたのではないのでしょうか。「おなかいっぱい食べさせられなくて、ごめんね」という弱々しい走り書きが見えたのかもしれない。そこから、自分にできることはないか、と具体的な行動に移した松島さんはすばらしいセンサーを持つ僧侶だと思います。

「見えない貧困」を見る

「子どもの貧困」ということばは、すっかり定着しました。子どもの7人に1人が貧困状態といえます。ただ、そうやって数字で聞いても、なんとなく頭で理解するだけではないでしょうか

左ページの写真をご覧ください。これは山梨県にある認定NPO「フードバンク山梨」に届いたお礼の手紙です。この団体も、困っている家庭に食料をお渡ししています。手紙には「1日に豆腐1丁しか食べさせることができません……」と書いてありました。事情があって、祖母が孫の世話をしている。体の大きな孫は空腹で眠れず、夜、台所で立ちすくむ。こうしたリアルな事実と接すると、さすがにわたしたちのセンサーも少しは反応するのではないのでしょうか。

理事長の米山けい子さんの話によると、こんなこともあったそうです。SOSの連絡が入り、駆け付けると、そこは立派な一軒家。し



こに書くのは身が重いのですが、数年ほどしては、2年前1日に豆腐1丁しか食べさせてあげられず、体の大きな孫は空腹で寝られず、夜は台所でボーッと寝ぼけて立ちすくむ

かし家に入ると、餓死寸前だった……。児童扶養手当や生活保護を受けている家庭は行政が把握しています。しかし、なんとか自分たちでがんばろうと思っている方たちの存在は見えにくいです。米山さんはこれを「見えない貧困」と呼んでいます。

みなさんのお寺の檀家さんのなかにも、もしかしら見えない貧困が忍び寄ってははいないのでしょうか。見えないものを見るには、どうしたらいいのでしょうか。そのあたりのことを3月31日におこなわれた全日本仏教会のシンポジウムでお話しました。「貧困」がテーマです。You Tubeで「全日本仏教会」「シンポジウム」「貧困」と検索すると見つかりますので、よければご覧ください。

あのワンピースの女性からの問い

ところで最後に、この記事の初めのほうで紹介した私の体験談の続きをしなければなりません。白いワンピースの女性の話です。

じつは、わたしはある時からその女性に気づいていました。その方は来る日も来る日も、同じところで物乞いをしていたからです。わたし

もまた、見て見ぬふりをする群衆の一人でした。しかし、あの「女の乞食は珍しいな」という声を聞き、その場に立ち止まりました。わたしは次の瞬間、しゃがみこんで女性に話しかけたのです。ほとんど反射的でしたから、どんなことばを選んだのか覚えていません。なにかモゴモゴと話したと思います。

女性は少し驚いたようでしたが、しっかりと口調で状況を説明してくれました。「どこか屋根のあるところで、簡単な仕事ができればいいのですが……。たとえば宛名書きとか」。

すぐ近くには立派なお寺があります。そこから頼れるかもしれないと考え、わたしは相談してみると約束しました。

ところが翌日、女性が見当たりません。別の駅の近くに座ることもあると聞いていたので、そこにも行きました。でも、やはり姿はありません。

わたしはとんでもないことをしてしまったのではないだろうか。そう思うといたたまれなくなり、かねてから尊敬する成田市の住職・篠原鋭一さんに電話しました。死にたい気持ちを抱えた方の相談に24時間応じておられる方です。わたしの話を聞くなり、篠原さんはこうおっ

しゃいました。

「それは大正解！ その女性の気持ちになんか変化が起きたのですよ。自分で次の行動に移ったのですよ」

それを聞いて、わたしは少し救われた気がしました。ただ、ほんとうに自分の行動はよかったのかと責める感情は残ったままです。当時は「路上生活脱出ガイド」なるものがあることも知りませんでした。生活保護についての知識も十分にありませんでした。情けない話です。

どこかに消えてしまった白いワンピースの女性はいまも、わかったような顔で貧困問題を語ろうとするわたしに「あなたにはなにができませんか？」と問いかけているように思えます。



いそむら・けんたろう 1960年生まれ。83年、朝日新聞社に入社。サンパウロ支局長、ローマ支局長、AERA副編集長などを経て、宗教担当の専門記者を務めた。昨春に退社し、現在はフリーランスのジャーナリスト。著書『仏教、貧困・自殺に挑む』（岩波書店）など。連絡先は isomura33@gmail.com



法話

ぶっぼうそう

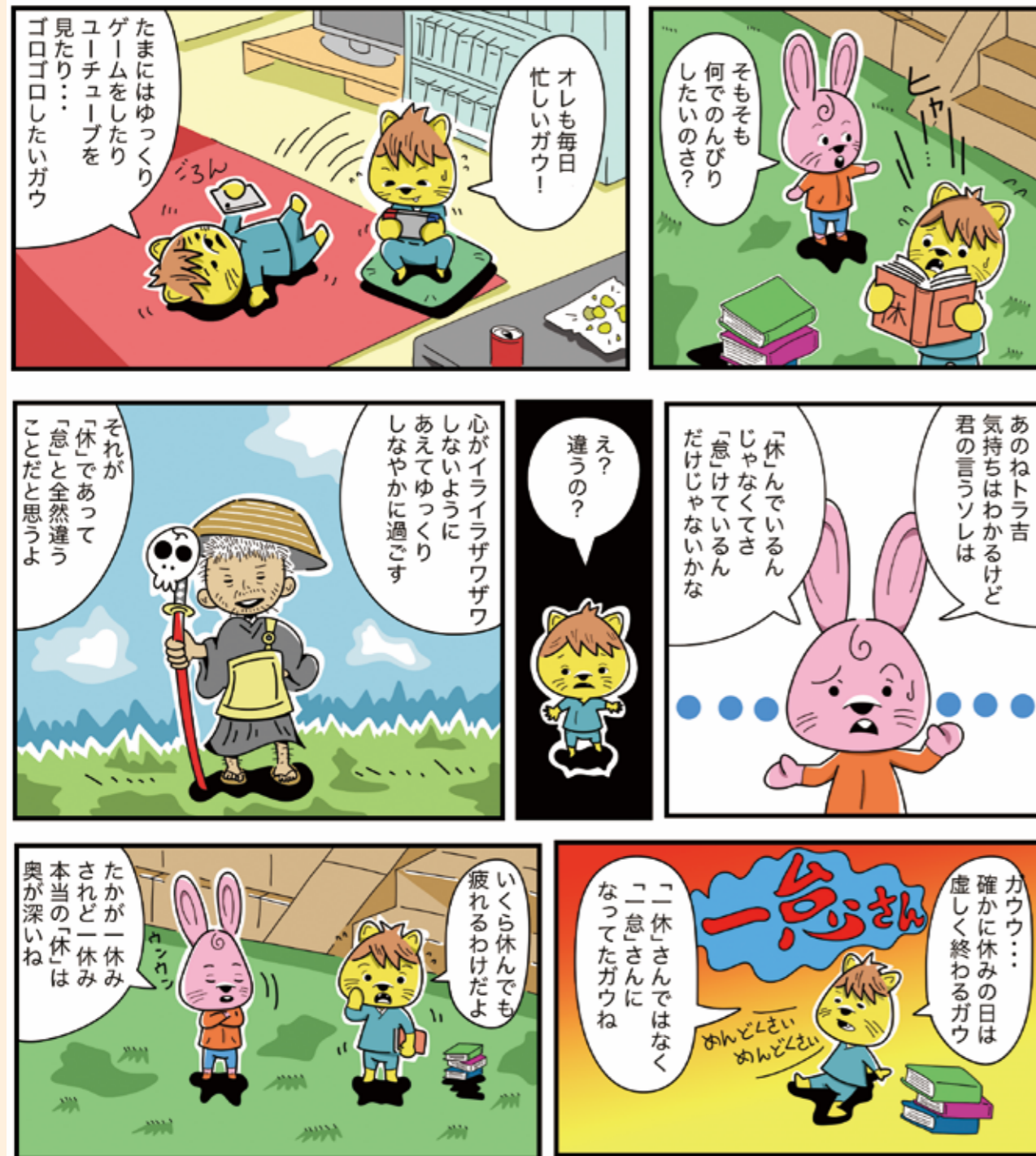
14

「ぶっぼうそう（仏法僧）」では専門家や大人だけではなく、子どもでも分かりやすい言葉や内容を心がけて、日々の生活に役立ち活かしていける法話を紹介いたします。

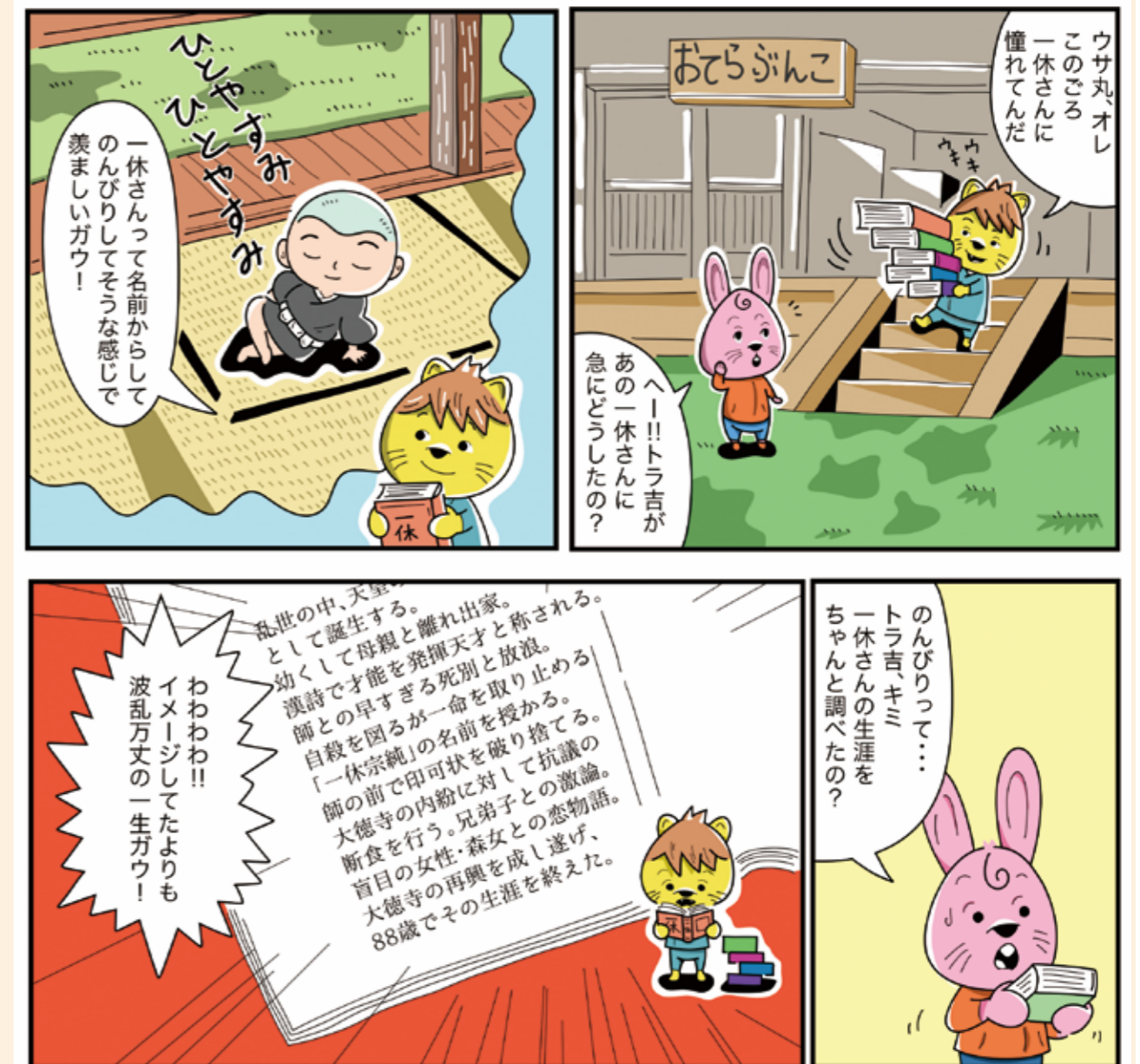
プロフィール

光澤裕顕 (木屋裕顕)
真宗大谷派覺法寺衆徒/お坊さんマンガ家

京都精華大学マンガ学部マンガ学科卒業
大谷大学短期大学部仏教科教師資格取得コース修了
マンガ家・イラストレーターとして作品を発表し続けている。
また、コラムの執筆やテレビ、ラジオなど各メディアで精力的に活動中。
著書『生きるのがつらいときに読むブツダの言葉』



みんな知っている親しみやすいお坊さんと言えば...そう「一休さん」。そんな「一休さん」についてちょっと気になったこととお話します。



イベント

① 世界平和を願う・リレー行脚

前回開催地の福島から京都へ、
京都西本願寺から島根県民会館まで約10日間

② 世界平和を願う「慈悲の鐘」

毎月1日正午 県内寺院一斉鳴鐘

③ 世界平和を願う写経奉納

仏教徒の皆様にご写経を依頼し、世界平和と人類の安寧を共に願って頂きます。「三冊依文」とは2600年前お釈迦様のお弟子になる儀式に読まれたお経だと言われています。「三冊依文」を写経し、改めて仏教徒であることの自覚と仏様に護られていることの幸せをお喜び下さい。浄写されたお経は、大会の法要で仏様に報告した後お焚き上げ致します。
奉納料一巻一千元。写経用紙のお求めや納経方法など詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。
安来市清水寺 写経奉納事務局 電話 0854-22-2151

基調講演

「異文化交流の事跡を尋ねる」

立正大学ウズベキスタン学術調査隊報告

講師 立正大学名誉教授 博士(文学) 安田 治樹 先生



パネルディスカッション

異文化交流の歴史から共生の知恵を学ぶ



コーディネーター

東京大学教授
日本印度学仏教学会
理事長
下田 正弘 先生



パネラー

武蔵野大学
名誉教授
ケネス 田中 先生



パネラー

兵庫県立大学名誉教授
身延山大学客員教授
岡田 真水 先生



パネラー

花園大学 教授
もろ 師 茂樹 先生

以上是非公開で開催し、映像を収録する予定。

新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、内容を変更することがあります。
また、会場運営は感染症予防の措置を十分に講じて行います。



ご住職様、ご寺族様、門信徒・檀信徒様のご参加をお待ち申し上げます。

島根県は「神の国」と称されるように、歴史ある神社が多く、神道の影響が色濃く地域として知られています。しかし、石見神楽などに代表される神楽は仏教と密接な関係にあるほか、松江市を中心に禅の影響を受けた茶の湯文化が根付いているように、仏教の影響も少なくありません。このように現在ある日本文化は、日本古来の習俗に異国の文化であった仏教の諸要素が多分に溶け込んで形成されたものと見ることができます。神仏融合の文化が根付く島根の地で、10月2日(土)に第45回全日本仏教徒会議島根大会を開催いたします。新型コロナウイルスの全国的な蔓延が継続している状況ですが、でき得る限りの対策を施した上で皆様をお迎えすべく鋭意準備を進めております。本大会が皆様にとって「異文化理解と共存」の大切さを学び、慈悲心を稽古し、神仏の調和する松江や出雲の文化と情緒をお楽しみいただく機会となることを願ってやみません。遠近にかかわらず参加をご検討いただければ幸いです。

詳細につきましては、島根県仏教会ホームページ

(<https://www.bukyokai.com>)をご覧ください。



島根県仏教会会長 清水谷 善圭

第45回
全日本仏教徒会議

異文化理解と共存
仏の心を
稽古する

令和3年 10/2(土)

島根大会
島根県民会館 大ホール

〒690-0887 島根県松江市殿町158

主催／(公財)全日本仏教会 島根県仏教会

協力／中村元記念館

後援／(公財)仏教伝道協会 山陰中央新報社 BSS山陰放送

TSKさんいん中央テレビ 山陰ケーブルビジョン

島根県商工会議所連合会 新日本海新聞社 日本海テレビ



<https://www.bukyokai.com>
参加については
ホームページからお申し込み下さい

10月2日(土) 12:00 開場
13:00 開演

①開会法要・世界平和を願う法要

②開会式典

③講演「仏の心を稽古する」
釈 徹宗 先生(相愛大学副学長・人文学部教授)

④閉会式典
「大会宣言」
「次期開催地に大会旗受け渡し」

仏教体験コーナー

第二十二回理事会開催

【二〇二〇年度事業報告及び決算の承認】

コロナ禍による緊急事態宣言中のためオンラインで五月二十日に開催された、第二十二回理事会の議案第一号及び第二号において、二〇二〇年度事業報告及び決算が承認されました。議案第三号では、評議員会の招集及び開催について承認を求める件について上程し、承認されました。議案第四号では、在家仏教協会の本会加盟退会について上程し、承認されました。

【第二十二回理事会概要】

日 時：令和三年五月二十日（木）
午後二時～
場 所：Web会議室
出席理事：十七名（二十名中）
出席監事：二名（二名中）
議長 長：戸松義晴第三十四期理事長

○議案（全議案承認）

- 第一号 二〇二〇年度事業報告について承認を求める件
- 第二号 二〇二〇年度決算について承認を求める件
- 第三号 評議員会の招集及び開催について承認を求める件
- 第四号 在家仏教協会の本会加盟退会について承認を求める件

○報告事項
第一号 各部報告

○出席者（順不同・敬称略）

- ①理事
 - 成田隆真（曹洞宗）
 - 松原功人（浄土真宗本願寺派）
 - 木全和博（真宗大谷派・事務総長）
 - 戸松義晴（浄土宗・理事長）
 - 木内隆志（日蓮宗）
 - 上沼雅龍（臨済宗妙心寺派）
 - 杜多徳雄（天台宗）
 - 小峰立丸（真言宗智山派）
 - 小島一雄（真言宗豊山派）
 - 岡野正純（孝道教団）
 - 守山雄順（聖観音宗）
 - 一宮良範（念法真教）
 - 新美昌道（東京都仏教連合会）
 - 井澤孝一（神奈川県仏教会）
 - 松永直樹（山梨県仏教会）
 - 長澤香静（一財京都仏教会）
 - 本山瑞峰（岡山県佛教会）
- ②監事
 - 三吉廣明（法華宗〈本門流〉）
 - 木村匡成（公認会計士）
- ③その他出席者
 - 長谷川正浩（長谷川法律事務所）

WFB（世界仏教徒連盟）から
宮城県震災支援ボランティア
団体、東北サンガへ義援金が寄託

令和三年四月十九日、WFB（世界仏教徒連盟）パン・ワナメッティ会長より、東日本大震災の被災者を支援するボランティア団体・東北サンガへ、本会を通して義援金が寄託されました。この義援金は、WFBの事務局次長であり、東北サンガの代表でもある東海林昌師から、宮城県釜石市寒風沢島地区への公的支援が十分ではないとの報告を受けたパン・ワナメッティ会長が、WFB人道基金から約一万六〇〇〇米ドルを拠出したものです。



添えられたWFBパロップ・タイアリー事務総長からの手紙には「この人道的支援が彼らの苦難を軽減し、冷静さと勇気を持って状況に立ち向かうための精神的支えとなることを願っています」とあり、コロナ禍において直接会うことが難しい状況においても、仏教



左：東海林昌師 右：戸松義晴全日本仏教会理事長

徒の世界的な連帯は健在であることを強く意識させてくれるものでした。これを受けて令和三年六月三日、本会は東海林師へこの義援金を手交しました。

東日本大震災から十年の月日が経過した今も被災地の復興はまだ道半ばです。本会においても救援基金を常時開設しています。ぜひご協力をお願いいたします。

全日本仏教会ホームページ
「救援基金のお願い」



レインボーステッカーについて

二〇二〇年十一月五日に本会が主催した公開シンポジウム「仏教とSDGs現代社会における仏教の平等性とは」LGBTQの視点から考える」での提言を受け、思いを具現化したものとして、レインボーステッカーを作成しました。

【平等な世界をめざして】

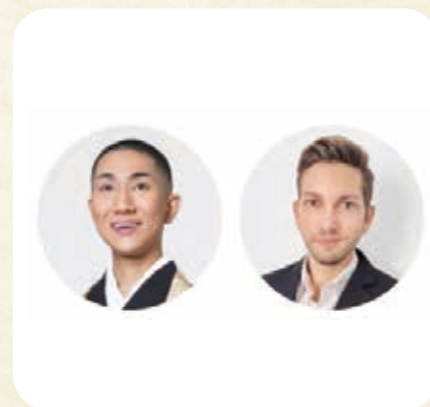
このインボーステッカーは、虹がそれぞれの色で輝いているように、それぞれの人がそれぞれの個性で輝き、幸せに生きることを仏教が願っていることを発信する目的があります。六色のレインボーは性の多様性を表す象徴として、世界的に用いられています。今回のステッカーでは、性の多様性だけでなく、すべての人の個性やその人らしさを尊重するという意図を込めたデザインです。仏教の「一切の生きとし生けるものは皆幸せであれ」という平等の教えを心に思うだけでなく、寺院の門や玄関にレインボーステッカーを掲示していただくという、思いをかたちにした取り組みです。



- 多様性を象徴するレインボー
- 信仰のシンボルである合掌のマーク
- 肌の色にとらわれない、黒い影の色
- 全ての個性を肯定する姿勢をアピール

このレインボーステッカーを通して、仏教が持つ平等性をお寺にお越しになる方だけでなく、世界に発信していきます。我々は全ての人に差別のない対応をし、その声に耳を傾け、共に考え、共に歩む姿勢を示し、また多様性についての正しい理解を深めるために、全日本仏教会では引き続き取り組みを進めていきます。このステッカーは多様性を応援する意思を持つ寺院だけでなく、趣旨に賛同した方々にもお渡ししております。

【デザイナー】



このステッカーはLGBTQの当事者の二人のアーティストによってデザインされました。西村宏堂さん（僧侶／メイクアップアーティスト）とセルヒオ・ガルシアさん（バルセロナ在住のクリエイティブデザイナー）です。西村さんは「LGBTQの当事者は、仏教のコミュニティの中にも存在し、仏教は多様な人と共に歩いて行く存在である」という思いでデザインされました。

【寺院関係者の皆様へ】

葬儀や戒名、お墓を扱う寺院関係者が多様性について理解を示すことは必要不可欠です。例えばLGBTQの当事者が、自分のセクシュアリティについて家族やお寺にカミングアウトできず、自分で認識している性と違う戒名を付けられたり、同性のパートナーがいることを誰にも打ち明けられず、亡くなっても大切な人の葬儀に参列できなかつたり、



一緒にお墓に入れないという現状があります。そのようなことにならないように、寺院関係者が日頃から、すべての人がありのままの自分でいられる環境を作っていくことが大切です。レインボーステッカーを寺院の門や掲示板に掲示して、仏教が多種多様なあり方を尊重しており、その声を聞き、わからないことについては共に学び、共に歩む姿勢があるということをお寺に伝えたいと思います。ステッカーを掲示することで、お寺にご相談に来られる方があるかもしれませんが、その場合は相談者の秘密を守っていただくようお願いいたします。例えばLGBTQ当事者であることを打ち明けられた際に、そのことを他の人に話してしまうアウトティングなどは謹んでいただけないようお願いいたします。また理解のない言葉で傷つけてしまうことのないよう、LGBTQについての正しい知識と学び続けるお気持ちをお持ちの方に対応していただきたく存じます。多様性についての正しい理解を深めるために、全日本仏教会では引き続き取り組みを進めていきます。ご理解とお気持ちのあるご寺院のご協力をお願いいたします。

お求めは本会のホームページを参照下さい。

公開シンポジウム

「仏教とSDGs」貧困について考える「開催

令和三年三月三十一日、公開シンポジウム「仏教とSDGs」貧困について考える」を、本会の会議室からオンラインで開催しました。「仏教とSDGs」の第三弾として、今回は「貧困」がテーマです。

登壇いただいたのは、自立生活サポートセンター・もやいの理事長、大西連さん。最明寺副住職の千田明寛さん。本会の論説委員でジャーナリストの磯村健太郎さんの二名です。



自立生活サポートセンターもやい理事長 大西連氏

「船と船を繋ぎ合わせる」とを意味する「もやい」は、生活困窮者の相談などの支援を行う団体です。大西さんから、主として新型コロナウイルス感染症の影響が報告されました。

二〇二〇年二月の終わり頃から、特に非正規で働いていた方の相談が増え始めたといえます。そのため、クラスター

を発生させないように気をつけながら緊急支援を拡大し、毎週土曜日に、新宿の都庁の下で食料品の配布と相談会を行っています。二〇二一年に入ってから、昨年比で二〜二・五倍にもなるといいます。

困窮に至る方の多くは、もともと生活基盤が脆弱だった人で、コロナ前は景気に支えられて表出していなかったとのこと。特に十代後半から二十代前半が男女問わず多いそうです。共通するのは、相談できる相手がいない孤立。生活保護などの公的支援に困窮者はなかなか行きづらく、借金をする人が増えた現実があるそうです。そこにごどのような支援を届けるのが今の課題といえます。

今、「コロナの長期化によって失業、借金、住宅の喪失、進学などのリスクが高まっていることが報告されました。



埼玉県・最明寺副住職 千田明寛氏

川越市にある天台宗の最明寺の副住職の千田さんは、仏教者としての貧困への関わりをお話し下さいました。

二十五歳で加行を終えた後、天台宗のインドの海外寺院に一年間赴任し、外国の宗教を見てきたというのが活動の原点という千田さん。そこでは、お寺が率

先して社会的弱者に寄り添ってしました。それに触発されて、自坊ではセクシャリティにとらわれない仏前結婚式や、乳がん患者の支援などの活動を行っています。

特に本堂を使って開催している子ども応援パントリーは、去年の三月に始めました。行政から告知をもらうなど、全面的な協力も得られたといえます。

フードパントリーとは、生活に困っている人に食料や日用品を無料で配布する地域の拠点です。お寺単独ではなく、市民団体や日蓮宗のお寺とも連携し、現在、二百四十の母子家庭が登録されていて、一回につき一家庭約十キロの食料を配布しています。

この活動は県や市だけでなく、地元の農家や食品企業などの協力を得ながら続けてきたこと、またその背景として、埼玉県の先進的な取り組みが紹介されました。



全日本仏教会論説委員/ジャーナリスト 磯村健太郎氏

これまで貧困について長らく取材してきた磯村さんからは、僧侶への期待が語られました。

今の日本には、なにかの拍子でつまずくと、貧困にすべり落ちてしまう現実があり

ます。僧侶に望むのは、落ち行く途中にある人たちへの網となること。

一つの提案として磯村さんは、千田さんが行っているような「お寺パントリー」をあげます。世の中には、中身に問題はないが商品としては出回らない食品を預かるフードバンクがあります。中でも一番大きいセカンドハーベスト・ジャパンが今お寺への協力を求めているそうです。東京にはパントリーの数が圧倒的に足りない中、電車賃のからない身近なお寺がパントリーになれば、大きな社会貢献になると磯村さんは提案します。

他にも、困っている人へのアクセスの仕方、トイレに「あなたのお話をお聞きします」と書いたカードを置くなど、具体的な方法を提示しながら、小さくても良いからはじめの一步を踏み出すことを提案してくれました。

以上の三氏の提言を踏まえて、後半では本会理事長の戸松義晴を加えたトークセッションが行われました。その様子は、本会のYouTubeチャンネル(左のQRコード)からぜひご覧下さい。

【本会YouTubeチャンネル】



第一部 提言



第二部 トークセッション

第三十四期

各種審議会・委員会委員

(令和三年四月一日、令和四年三月三十一日)

【総務財政審議会】

- 篠原 壽王 (曹洞宗)
東森 尚人 (浄土真宗本願寺派)
下野 真人 (真宗大谷派)
名越 邦博 (浄土宗)
木村 吉孝 (日蓮宗)
岡部 親栄 (高野山真言宗)
上沼 雅龍 (臨済宗妙心寺派)
小林 祖承 (天台宗)
日下 敬啓 (真言宗智山派)
細沼 秀行 (真言宗豊山派)

【社会・人権審議会】

- 我孫子 高宏 (曹洞宗)
宇野 哲哉 (浄土真宗本願寺派)
荷葉 一浩 (真宗大谷派)
伴 乃昶 (浄土宗)
三原 正實 (日蓮宗)
佐々木 基文 (高野山真言宗)
谷 明生 (臨済宗妙心寺派)
柴田 真成 (天台宗)
服部 融亮 (真言宗智山派)
石井 健誓 (真言宗豊山派)
株橋 隆真 (法華宗(本門流))
梨本 三千代 (公社) 全日本仏教婦人連盟
小池 達子 (学識経験者)
岡田 真水 (学識経験者)

【国際交流審議会】

- 安藤 道隆 (曹洞宗)
石田 真住 (浄土真宗本願寺派)
錦 秀見 (真宗大谷派)
光岡 素生 (浄土宗)
佐々木 康文 (日蓮宗)
丹羽 義寛 (高野山真言宗)
松山 大耕 (臨済宗妙心寺派)
奥山 元照 (天台宗)
細田 昌弘 (真言宗智山派)
小林 政彦 (真言宗豊山派)
久野 晃秀 (法華宗(本門流))
長松 清潤 (本門佛立宗)
日比野 郁皓 (学識経験者)
川橋 範子 (学識経験者)
枝木 美香 (学識経験者)
西村 宏堂 (学識経験者)
西永 亜紀子 (学識経験者)

本郷 由美子 (学識経験者)

【宗教教育推進委員会】

- 小林 千秋 (曹洞宗)
白川了信 (浄土真宗本願寺派)
土肥 人史 (真宗大谷派)
杉森 隆志 (浄土宗)
塩田 義徹 (日蓮宗)
橋本 真人 (高野山真言宗)
細川 晋輔 (臨済宗妙心寺派)
森田 源真 (天台宗)
山川 弘巳 (真言宗智山派)
山崎 秀法 (真言宗豊山派)

【広報委員会】

- 菅原 伸郎 (公社) 在家仏教協会
武藤 道郎 (学識経験者)
岩倉 宏 (学識経験者)
山口 弘江 (学識経験者)
岡田 愛 (学識経験者)
篠原 壽王 (曹洞宗)
寺住 太祐 (浄土真宗本願寺派)
梯 宗 (真宗大谷派)
小林 正孝 (浄土宗)
小泉 顕應 (日蓮宗)
山口 文章 (高野山真言宗)
坂本 康典 (臨済宗妙心寺派)
高見 昌良 (天台宗)
杉本 栄次 (真言宗智山派)
相島 俊仁 (真言宗豊山派)
吉田 泰樹 (東京都仏教連合会)
沼田 千恵 (公社) 仏教伝道協会
松崎 香織 (学識経験者)
北野 壤治 (学識経験者)
鶴飼 秀徳 (学識経験者)
五味 彩織 (学識経験者)
加藤 真紀子 (学識経験者)

【WFB(世界仏教徒連盟) 日本センター運営委員会】

- 小林 正道 (WFB副会長)
日比野 郁皓 (WFB人道支援委員会委員長)
東海林 良昌 (WFB副事務総長)
村山 博雅 (学識経験者)
王 仁興 (学識経験者)

【支援検討会議】

- 松崎 香織 (学識経験者)
吉田 泰樹 (東京都仏教連合会)
稲田 海聡 (一社) 仏教情報センター)
本多 端子 (公社) 全日本仏教婦人連盟)
青木 晴美 (公社) 仏教伝道協会)
茅野 俊幸 (仏教NGOネットワーク)
稲場 圭信 (大阪大学)
谷晃仁 (全日本仏教青年会)
長谷川 正浩 (本会顧問弁護士)

【全仏】誌論説委員会】

- 内藤 麻里子 (学識経験者)
磯村 健太郎 (学識経験者)
赤堀 正卓 (学識経験者)
西出 勇志 (学識経験者)

【遺骨返還委員会】

- 西郊 良光 (日韓仏教交流協議会)
鈴木 利枝子 (日韓仏教交流協議会)
小鍋 法仁 (日韓仏教交流協議会)
崔 憲蔵 (学識経験者)

第5回花まつりデザイン募集

応募締切
2021年
9月30日(木)
まで
※当日消印有効

募集要項



第1回ポスター大賞作品



第2回ポスター大賞作品



第3回ポスター大賞作品



第4回ポスター大賞作品

応募資格

プロ・アマチュア問わず、すべての方に応募いただけます。
(ただし、作品採用の場合、修正や転用に依られること)

応募条件

未発表のオリジナル作品で、仏教行事である「花まつり」を題材として自由に作品を描いてください。なお、作品に文字は入れないでください。
(例: お釈迦さまに甘茶をかける場面、ご誕生をお祝いする場面、寺院の行事やイベントの場面など)

作品規定

素材・画材・技法は自由(デジタル作品も可)、立体物は不可
応募する作品は、下記のサイズを参考に制作してください。(複数応募可)

●募集作品サイズ●

用紙: A3サイズ以上 (297mm×420mm 以上)
デジタル: 300dpi以上 (15MB 以上、5000×7000ピクセル 以上)

応募方法

右のQRコードのページから応募用紙をダウンロードし必要事項を明記の上、1作品につき1部同封してください。
作品は折り曲げずに(筒状は可)郵送してください。
(デジタル作品もカラー出力後、郵送にて受付となります。)



作品送付先・お問い合わせ

公益財団法人 全日本仏教会 広報文化部
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階
TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260

事務局員の異動

〔退任〕
社会・人権部 齊藤哲園 (天台宗)
財務部 藤井朋行 (真宗大谷派)

〔就任〕
社会・人権部 福田昇行 (天台宗)
財務部 朝倉俊隆 (真宗大谷派)

「救援基金」寄附者一覧

二〇二二(令和三年)三月一日
～二〇二二(令和三年)五月三十一日
(時系列順・敬称略)

水口地区佛教会
郭 瑞蘭
齊藤 清美
僧伽三國
WFB (世界仏教徒連盟)

総計 一, 九九六 三九七円
ご支援、誠にありがとうございました。

「賛助会員」新規入会者一覧

二〇二二(令和三年)三月一日
～二〇二二(令和三年)五月三十一日
(時系列順・敬称略)

〈団体会員・営利〉
イワト株式会社みのはん
株式会社セルフネン

ご入会、誠にありがとうございました。

賛助会員募集

本会では賛助会員を募集しております。全国のご寺院をはじめ、企業や団体、個人としてご入会いただけます。入会等の詳細は本会ウェブサイトをご覧ください。
http://www.jbf.ne.jp/about/about_index/about_member

税金なんでも相談

寺院向け お電話1本でカンタン申込み。相談無料。

電話 or 対面 どちらも相談できます

寺院運営をする上で起こる様々な税金の悩みに、エキスパートたちが1ストップでお応えいたします!

無料法律相談室

寺院向け お電話1本でカンタン申込み。相談無料。

主に第二・第四木曜日 要事前予約

法律? トラブル? 墓地?

本会顧問弁護士が、寺院向け無料相談を開催しております。

お問い合わせは本会まで<03-3437-9275>